

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	令和6年度 第1回 加須市文化財保護審議会
開催日時	令和6年5月27日（月） 午後1時30分から午後3時00分まで
開催場所	加須文化・学習センター 研修室2
議長氏名	田沼宣喜委員長
出席委員	田沼宣喜委員長、渡辺章副委員長、黒田茂子委員、関根雅彦委員、 野中松夫委員、平澤香委員、山崎繁雄委員、板垣時夫委員、正能晴 雄委員
欠席委員	齋藤みちよ委員
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議事 （1）令和5年度 文化財保護事業報告 （2）令和6年度 文化財保護事業計画 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	令和6年度 第1回加須市文化財保護審議会 次第 （1）令和5年度 文化財保護事業報告 （2）令和6年度 文化財保護事業計画
会議の公開又は 非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	生涯学習課文化財担当主幹 坂本征男、同課文化財担当主事 高橋 杜人
事務局職員職・氏名	教育長 小野田誠、生涯学習部長 斉藤千恵美、 生涯学習課長 蓮見晴美、同課文化財担当主幹 坂本征男 同課文化財担当主事 高橋杜人
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
進行：坂本主幹	1 開会 本日の会議は公開対象の会議となっておりますが、傍聴人はございません。
田沼委員長	(あいさつ)
小野田教育長	(あいさつ)
斉藤部長	(あいさつ)
	2 事務局職員紹介 (小野田教育長、斉藤生涯学習部長、蓮見生涯学習課長、坂本生涯学習課文化財担当主幹、高橋生涯学習課文化財担当主事)
高橋主事	小野田教育長は、次の公務がございますので、退席させていただきます。
	3 議事 ・これより議事進行を田沼委員長が行う。
田沼委員長	(1) 令和5年度 文化財保護事業報告について 事務局より説明をお願いします。
坂本主幹	① 指定文化財の保護、②埋蔵文化財の保護、③歴史・民俗資料の保護、 ④文化財の啓発・普及、⑤その他について、資料に基づき説明。
田沼委員長	ご質問がある方はお願い致します。
山崎委員	加須市獅子舞保存会連合会の構成についてお伺いしたい。
高橋主事	多門寺の獅子舞保存会、北小浜の獅子舞保存会、南大桑の獅子舞保存会、 古宮の獅子舞保存会、大越三耕地の獅子舞保存会、前田耕地の獅子舞保存会、 今鉢の獅子舞保存会の7団体で構成されています。
野中委員	騎西の雷神社のささらと大利根の北下新井のささらがありますが、指定

	文化財ではないため補助金を支給していないのでしょうか。
坂本主幹	雷神社のささらと北下新井のささらはどちらも市指定無形文化財に指定されております。補助金を支給している加須市獅子舞保存会連合会は加須地域の7団体で構成されておりますが、雷神社のささらも北下新井のささらも加入していません。また、個別に定額の補助金も支給はしてありません。ただし、獅子舞の奉納に使用する用具の新調・修繕をおこないたいという要望があった場合は適宜対応してまいります。
関根委員	騎西城跡の特別展では、市内の中学生が、騎西城跡障子堀の模型と兜の体験型兜を作られたということですが、大変素晴らしいことです。私も、中学校で社会科を教えていましたが、なかなか郷土の文化財に対して生徒たちは目がいきませんでした。昭和中の生徒などが頑張って模型を作ったことは、他の学校の生徒たちにも伝わってほしいので、巡回展をおこない、市内の学校で展示するのもよいと思います。
板垣委員	騎西城跡の特別展には、私も見に行きました。中学生が制作した障子堀の表彰式が行われており、素晴らしい特別展になったと思います。講演会では、質問も多く出たほか、市内だけでなく市外の方も多く参加しているようで、素晴らしい取り組みだと感じました。このような取り組みをこれからも続けてほしいと思います。
田沼委員長	中学生の制作した模型展示は私も拝見しましたが、大変好評だったようです。小中学生には、「総合的な学習の時間」が設けられていますが、有効に活用できているとは言い難いと思います。こうした時間を障子堀や兜の模型制作のような活動に充て、より児童・生徒の文化財への関心が高まってほしいと思います。
平澤委員	昨年度は騎西城に関して、大変な盛り上がりを見せていました。市長さんや教育長さんが先頭に立って、いろいろな形で紹介していただいたこともあつたと思います。 「社会科授業の支援」に関連して、こども局の事業で、「子ども大学」をおこなっています。一昨年は、騎西郷土史料展示室に行き、騎西城下を探検し、昨年は、北川辺郷土資料館で、洪水や田中正造について学びました。子供たちは、加須市の文化財や、先人の苦勞について目を開いていました。今後も、子供たちへの支援を進めてほしいと思います。

齊藤部長	生涯学習課で製作した、加須の偉人の等身大パネルが市内の学校に巡回したが、大変よい試みでした。実際にパネルを触って、自分の身長と比べるといった体験ができたようです。 偉人の等身大パネルは、モノクロですが、今の服とは違う着物や洋装を着ていたということを知ることができたようです。パネルの足元には、QRコードがあります。児童がそれぞれもっているタブレットを使って、加須インターネット博物館の偉人の紹介のページにアクセスし、学んでいます。学校の方からは、良い評判を多く聞いております。 これからどう活用していくかが課題ですが、今後御意見をいただければ幸いです。
田沼委員長	(2) 令和6年度 文化財保護事業計画について、事務局より説明をお願いします。
坂本主幹	①指定文化財の保護、②埋蔵文化財の保護、③歴史・民俗資料の保護、④文化財の啓発・普及、⑤その他について、資料に基づき説明。
田沼委員長	ご質問がある方はお願い致します。
正能委員	「指定文化財の保護」の指定文化財指定に向けての調査についてです。 宮大工の三村氏については、『羽生市史』が参考になると思います。騎西地域でも、三村氏が建築した社寺があります。棟札をもとに調査した内容が『騎西町史』に記載しています。 指定文化財を指定するためには、「指定するための基準」を設ける必要があります。この基準を設定することは非常に難しいです。資料価値の高さや特徴があるかどうかなど様々な要件が基準になると思います。基準がないと、指定文化財へ指定の要望があったときに、指定文化財に指定するべきかどうかの対応ができない。その基準を作るために、資料の悉皆調査をおこなう必要があります。指定を要望された際に、悉皆調査のデータがあれば、データの中でその資料がどのような位置づけにあるのか、例えば一番古いのか、そうでないのか、点数が多い、少ないということ客観的に判断できるのです。 今後も、指定文化財への要望が増えていくと思いますが、そそれに対してデータを基準にした客観的な回答をする必要があると思います。

黒田委員	事業計画とは違いますが、加須市には学芸員がいないと聞きました。実際にそうなのでしょうか。
坂本主幹	加須市には学芸員の任用資格を持っている職員はおりますが、学芸員として辞令を発令して任用している職員はおりません。ただし、今後、博物館や資料館で、そこを所属とした辞令を発令して、学芸員として任用する可能性はあります。
黒田委員	加須市郷土資料館設立を望む声も多く聞きます。資料館に学芸員も配置し、加須市のことを学べるとよいと思います
田沼委員長	資料館の設置は加須市全体で考えなければならない難しい課題だと思います。
平澤委員	コミュニティセンターの講座をいくつかやらせていただいておりますが、市民の文化財への関心が高いと感じます。講座では参加者から質問を多くいただきますし、講座の内容に関心をもった参加者と、昔の街並みの復元調査をおこなったりしました。このように市民の関心は高いですから市民をボランティアとして育成すれば、予算が少ない中でも資料調査などができるのではないのでしょうか。 また遺族から寄贈された斎藤与里の遺品がどこに所蔵されているかわからなかったのですが、加須東中学校に保管されていることを知りました。学校の先生も所在を知らなかったようです。長野の碌山美術館に作品が収蔵されているような方ですから、行方不明になるまえに、目録をつかって整理したほうが良いと思います。 予算がないのであれば、文化財に対する関心を持っている市民が多いのですから、資料調査員などとして市民ボランティアを手伝ってもらうことも可能なのではないかと思います。
田沼委員長	本来あるべき資料が散逸してしまうということは身近にあります。指定文化財の管理者に確認をして、文化財が適切に管理されているかを確認する必要があると思います。
野中委員	加須市では十六間筋兜を展示することで広く関心と呼ぶことができました。また、埼玉県立歴史と民俗の博物館の特別展では、長竹遺跡の縄文晩期の土器が多く展示されていました。長竹遺跡の資料は加須市の所有

斉藤部長	ではないので、加須市で展示するのは簡単ではないかもしれませんが、長竹遺跡をより周知ために展示もしくは紹介する場があるとよいと思いました。
平澤委員	「発掘された日本列島 2024」では十六間筋兜が他県から来た子供たちの関心を強くひいていました。十六間筋兜は、市外、県外から人を呼び込むための一つのきっかけになると感じました。3 月末の特別展でも市外から多くの方に来ていただきました。十六間筋兜は市の財産として活用していくべきであると思っています。 県の博物館に寄託している加須市由来の資料が多くあると思います。野中委員さんがおっしゃったようにそれらの資料を市民に紹介したほうがよいと思います。徳性寺の「紺地金泥字妙法蓮華経巻」のような大変貴重な資料が知られていないのはもったいないと思います。なので、現在市内で保管されていない加須の文化財を探して一覧表を作って紹介してほしいと思います。 以前、県立さきたま史跡の博物館で、樋遣川古墳群から出土した資料が展示されておりましたが、普段は博物館で収蔵していることを知らない市民も多いと思います。 十六間筋兜をきっかけに市民の文化財への関心が高まりましたが、より関心を高めていってほしいと思います ・議事が終わり、委員長が進行を終える。
板垣委員	5 その他 ・行田市小見真観寺の扁額と絵馬の調査報告書の紹介
高橋主事	・次回は秋ごろに研修を予定
渡邊副委員長	6 閉会 (あいさつ)
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注) 令和 6 年 6 月 7 日 署名 <u>田沼宣喜</u> 	

(注) 特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。